

フードバンクの可能性

～企業の視点から見る食品ロス対策～

理系D2

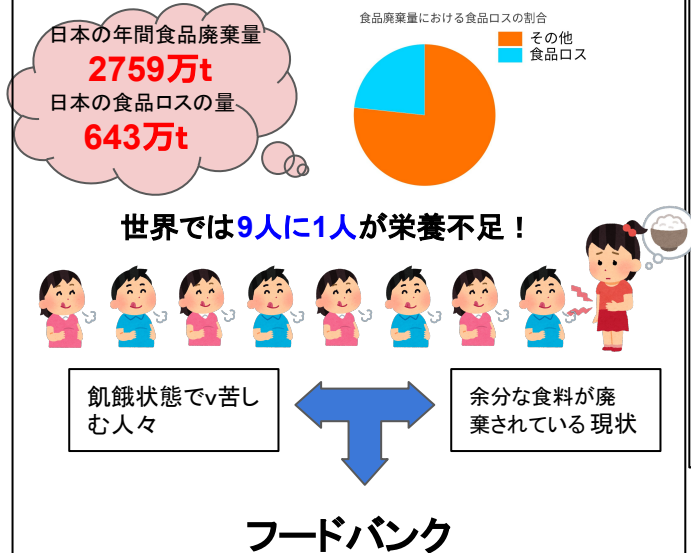
1. 序論

家庭や企業からの食品廃棄によって本来食べられるはずだった食べ物が無駄になっている。その状況を打開する手段としてフードバンクの活動に注目した。現在のフードバンクの課題や私たちにできることを明らかにすれば食品ロスの改善に繋がるのではないかと。

2. 材料と方法

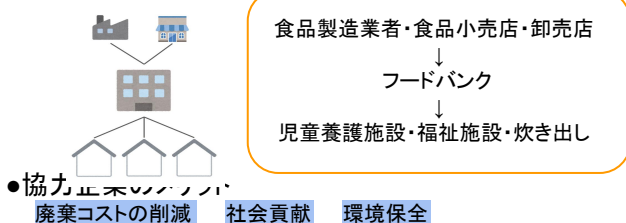
- ① 先行研究の調査⇒食料に関する現状把握
- ② フードバンクに話を伺う。
⇒フードバンクの視点からの課題発見
- ③ 企業にアンケートを依頼する。
⇒食品提供側の視点からの課題発見

3. 食品ロスの現状と取り組み



フードバンクとは？

まだ食べられるのにさまざまな理由で処分され捨てられてしまう食品を生活困窮者や施設に寄付する活動。



「フードドライブ」

→家庭から食品を学校や職場に持ち寄り、
フードバンクに寄付する活動

4. 結果・考察

COOPフードバンクさんと、協力企業の方々にフードバンク活動を通して感じる課題をお聞きした。

COOPフードバンクさんへのインタビュー



お菓子や調味料などの寄付が多い状況

カップラーメンやレトルト食品などすぐに食べられるものが必要

企業の方々へのアンケート

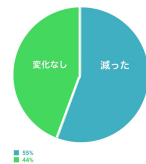


↓フードバンクへの協力による
食品廃棄率の変化



- ・提供品を区別するためのシールをははる作業が手間
- ・配送コスト
- ・効率的な仕組みづくり
- ・食品の状態を維持しながら配送
- ・フードバンク自体の認知度の低さ

↓フードバンクへの協力による
廃棄コストの変化



今ある課題の解決が
フードバンクのさらなる普及につながる

5. まとめ・結論



フードバンク

食品ロスの削減・生活困窮者の支援に効果がある！

課題の解決
によって活動
が広がっていく



協力企業の多く

～これからの活動～

- 引き続き企業さんにアンケートご協力を依頼
→フードバンクの課題を発見・解決策の模索
- フードバンクの食品ロスの問題における有用性について考える

参考文献

https://gooddo.jp/magazine/hunger/children_hunger/557/ 日本で広がる「新たな飢餓」？子どもたちの食糧事情とは
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/exchange_of_opinions/pdf/131028_sanko2-5.pdf
年間約1700万トンの食品廃棄物が排出。-消費者庁
<https://www.fb-kyougikai.net/foodbank> フードバンクとは 全国フードバンク推進協議会

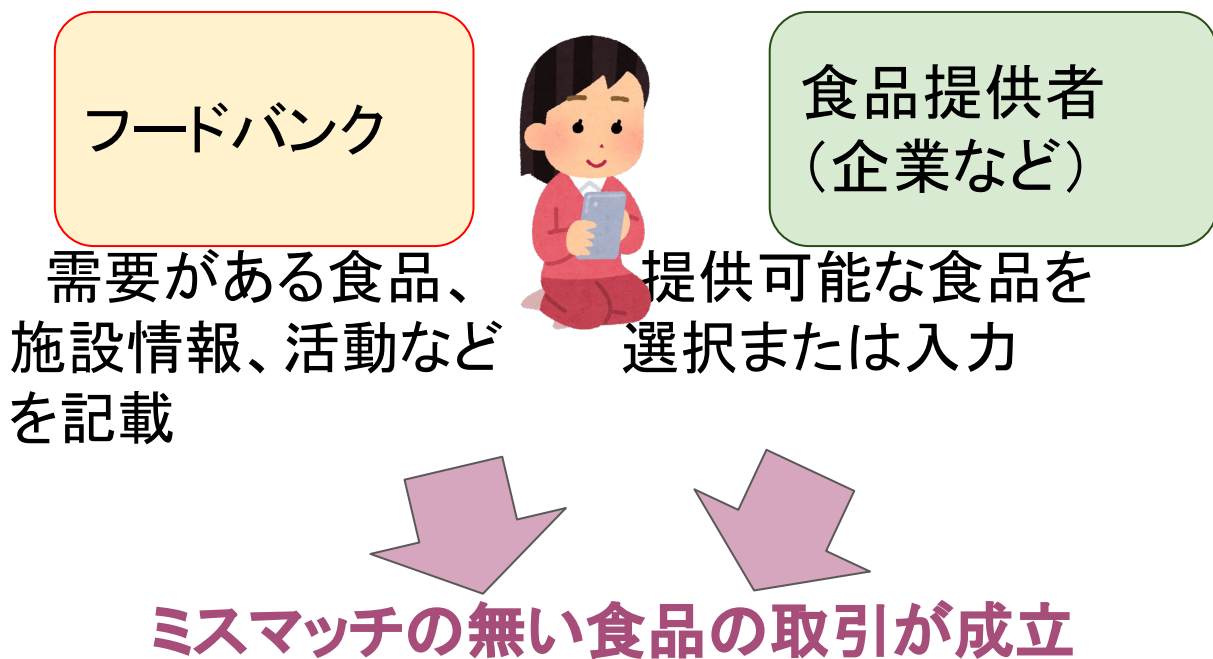
〈提案〉

フードバンクと提供者をつなぐアプリの開発

COOPフードバンクさんや協力企業の方々へのインタビューから分かった課題のうちの1つである、

食品の受け取り手(生活困窮者の方々など)が必要としている食品とフードバンクに届く食品の間で起こるミスマッチを解決できるようなアプリケーションが作れないか考えてみた。

アプリの名称：**FOODLINK**(仮)



フードバンク側：欲しい食品の情報を発信できる
→食品を受け取る児童養護施設や福祉施設の需要に応えた食品配送が実現しやすい

食品提供者側：複数のフードバンクの情報を一度に見ることができる
→食品の種類や立地などを考慮して協力するフードバンクを選びやすく、配送コストの軽減にもつながる